

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	それ以外	・ここ数か月売上、来客数ともじわじわと上がってきていたが、今月半ばに近くコンビニが閉店したことで、更に伸び、前年の107%と好調である。
	やや良くなっている	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・時期的要因が大きいものの、新卒者の影響で販売量、来客数の動きが良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・1、2月の売上はこの数年減少し続けているが、今年は横ばい状態である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・1年間営業活動を強化したことがようやく実を結び、販売量の動きが良くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・アジアで初めてのスペシャルオリンピックスの関係で、かなり客が来ている。客の動きが良く、町も活気を帯びている。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼間の客の動きは変わらないが、夜の客、特に深夜の動きが良くなり、前年同月比で17%の増収となっている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・2月後半は陽気が良くなり、新築、中古販売会への来場者が増加している。購入意欲が感じられ、即決する客も出ている。
	変わらない	一般小売店〔文具・事務機〕（経営者）	販売量の動き	・販売量が一向に上向かない。悪いままで変わっていない。
		一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・建築材料の値上げが続いており、価格転嫁ができず困っている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今年は雪が何回も降り、土日に影響が出ている。2月は営業日数が少なく、非常に厳しい状況である。
		スーパー（統括）	単価の動き	・来客数、買上点数は増えているが、単価の落ち込みはいまだに続いている。消費税総額表示の影響は一巡したが、単価の下落と収益性の悪化で、消費税分を小売が負担する状況が続いている。
		スーパー（経営者）	それ以外	・2月は前年同月に比べ日曜日が1回少なく、週末の天気あまり良くなかったこともあり1月より低調であるが、売上の推移は3か月前とほぼ同じ状態である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・価格にこだわる客が増え、高いと言われることが多くなっている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・寒さのおかげで厚手のショートコート、ジャケット類が比較的好調である。郊外型ショッピングセンターの影響が続いており、来客数はかなり落ち込んでいる。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・家電製品は大型商品でも一台当たりの単価が大幅に落ちているため、来客数が増えないと売上もなかなか見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・毎年2月に実施している大型イベントを今年も開催した。来場客数、組数は前年並みであったが、相変わらず客は慎重で、廉価車に集中しており、新車成約台数は前年比65%、売上が50%と、前年を大きく下回っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車両台数が伸びず、前年比でも70～80%と非常に厳しい状況にある。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・月初めの動きは鈍かったが、後半は第三代携帯を中心に販売が伸びてきている。ただし、PDCの新規販売は相変わらず苦戦している。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会、宿泊売上が前年比で10%減少している。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・愛知万博の開催に伴い申込が出ているが、その他の客の動きが鈍く、来客数は前年並みで変わらない。
旅行代理店（営業担当）		お客様の様子	・来客数は微増傾向にあるが、単価が低迷していることから、販売にはつながらない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・例年2月は休閑期だが、大雪の影響かタクシー需要が多い。当社タクシーの増車（2台）効果と、スペシャルオリンピックスの特需も要因である。		
観光名所（職員）	お客様の様子	・年間で一番入込み客の少ない時期であるが、節約ムードが強いことなどから宴会等も少なく、ホテル、レストランの売上は例年を下回っている。		

		遊園地（職員）	来客数の動き	・週末が降雪と重なることが多く、交通に影響が出るなど、集客に苦戦している。うるう年で休日が1日多かった前年並みの数字を確保するのは難しい。
		ゴルフ場（副支配人）	お客様の様子	・雪の影響で来場者は少ないものの、引き合いがあるので総じて変わらない。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価とも下がり気味である。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・売買、賃貸とも客が動き、引き合い、問い合わせ等は多少増えているが、なかなか成約に結び付かない。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・寒い日が続き、風邪を引いている人が多いことから最寄り品を扱う店での購入が多い。行動範囲が狭く、客の出足も悪い。
		一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・日中、夕方とも人が全然歩いていない。どんなに安くても人が通っていないと販売が成り立たない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前年に比べ寒い日が続いていることから、春物の動きが極めて不振で、販売量の動きが大変悪い。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・2月中旬以降の寒の戻りで、来客数の動きが鈍く、春物商品の動きが止まっている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・競合店の出店により価格競争がますます激しくなってきた。
		高級レストラン（店長）	販売量の動き	・中旬までは比較的順調に推移していたが、中旬以降、前年同月比マイナス20%程度と極端に落ち込んでいる。特に、フリー客が目立って落ち込んでおり、消費者の購買意欲の低下が感じられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・梅祭りが始まったが、日帰り客が多く、宿泊の伸びは期待できない。また、宴会等で予約時と当日の人数が違い、かなり減っているということがある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず深夜の利用客が少ない。飲み会などがあっても、9、10時には帰宅してしまうような状況で、売上が減少している。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・今月は天候の影響が非常に大きい。めったに降らない雪で交通機関がまひし、足場が悪くなり、客の出足が鈍る。来客数の減少から売上も少なくなっている。	
悪くなっている		一般小売店〔衣料〕（経営者）	来客数の動き	・1～3月は学生の制服関係が動く時期であるが、動きも活発ではなく、完成の連絡を入れてもなかなか受け取りに来てもらえない。
		コンビニ（店長）	それ以外	・大型ショッピングセンターが10月に開店してから、売上は下がる一方である。車の通行についても、特に深夜は商店街の周辺を通らず、大型ショッピングセンターの方に行ってしまうので、悪くなっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・広告、宣伝をしても、とにかく車が売れない。地元大型ホテル倒産の影響が続いており、来客数は極端に少なく、販売が落ち込んでいる。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・人通りが本当に少なく、1月中旬ごろからここ3～4年で1番悪いような状況である。スペシャルオリンピックによる観光客の入込みに少しは期待していたが、あまり出足が良くない。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業他社を含め、年度替わりでも動く気配がなく、仕事量は激減している。公共物件、一般個人住宅、民間設備投資、すべてにおいて期待できる要素がない。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・フリー便等の国内貨物の動きが鈍く、前年を下回っているが、食品等の日配便は安定している。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・3月以降に飲食店テナントが撤退するが、それ以上に、入居が正式に決まったところがあるので、空室率が改善される。賃料については厳しい状況が続く。
変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・高圧ガスの関連分野には新しい話がほとんどなく、低い水準で横ばい状態が続いている。	
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・3月の期末、10月の新長期排ガス規制を控えて、トラックの特装関係の受注量が増大している。また、産業機械、コンプレッサー等、70、100キロなどの大型の引き合いが非常に多くなってきた。工作機械も自動車向けが順調に推移している。	
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き受注が好調で、今月は過去最高の受注高を記録する見込みである。同業他社に仕事を振りたくても、皆が忙しい様子であり、納期対応に苦慮している。	

		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この2～3か月は受注価格、販売量の動きが良いが、変化はほとんどない。
		その他製造業〔看板〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はいくらか増えているが、価格面での伸びが思わしくない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末で受注は若干増えているが、採算は依然として厳しい。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・2月のチラシ出稿量は103%と、前年をやや上回っている。1月ほど降雪もなく、衣料品関係の売上も順調と聞いている。スペシャルオリンピックが始まるので、人の動きが多くなっている。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、電機等の製造業からのコマース受注は変わらないが、商業、サービス業、不動産業からのスポットコマースの契約期間が短くなり、小口化している。
やや悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の動きが激しくなる時期であるが、動きが鈍い。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・企業格差が拡大している。加工、組立関係はここへきて一気に冷え込み、仕事量が30～50%落ち込んだところもある。4、5月ごろまで回復は見込めない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先8社のうち6社は、3か月前に比べ受注が半分以下になっている。同業者には、仕事がなくて週休3日というところもある。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年比で約15%減少しており、勢いが無い。3か月インフレーション上も低下傾向にある。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は45,000人の業者が集まる国際宝飾展があり、展示会効果で売上が伸びたが、2月はどこも販売不振で、前年に比べ売上が大幅に減少している。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業の売上は横ばいかやや低下傾向にあり、輸出関連についても対中国向けに支えられている状況である。プラスチック、鉄鋼等の原材料高騰の影響もあるようである。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・予定していた広告予算をカットされ、2月の受注量は前年の2割減となっている。中小企業を中心に、取引先の業績は依然厳しい。
悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・パチンコ関係の取引先の新規生産がほぼストップ状態にある。別の取引先の生産量も、前年より大幅に落ち込んでいる。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年は、3～5月にかけて3か所の民間工事を受注したが、今年度は営業活動をしているが、受注ゼロも予想されるという状況である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・この春の高卒、新卒者の求人が前年同時期に比べて若干増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・年度末の契約更改の時期を控え、このところ各業界から人材の打診がぼつぼつ出てきている。登録者は前年同時期に比べ依然少なく、適任者選びに苦慮している。 ・IC関連メーカーから時々現場ラインへの派遣オーダーが入るが、希望者が見つからず、ほとんどが契約成立に至らない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・県内の有効求人倍率は8か月連続で1倍を超えている。周辺企業では飲食店や情報通信などで求人が増加しており、業種によるが製造業の求人も回復してきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業からの求人が減少気味で、就職件数も減少傾向にある。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・3か月前と比べ、新規求人、新規求職者数とも1割強増加したが、就職者数は1割強減少している。パート求人が3割を超え、正社員を希望する求職者とのミスマッチが大きくなり、求職者が希望する求人への就職が困難になっている。

	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業の勝ち組企業においても、受注が減少すると、まず現場の派遣社員を大量に契約終了にする、ということが始まっている。
	学校〔大学〕（総務担当）	求職者数の動き	・当校の就職内定率は90%を超え、院生は100%となっている。しかし、全国をみると大学生の内定率は60%台であり、非常に厳しい状況である。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・地元ではかなり厳しい経営状況のホテルも多く、新規の仕事はもちろん、現在行っている仕事でも値引きをして欲しいということで、突然業務を止められたりするところがいくつか出ている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・年度末が近くなり、企業整備、人員整理の件数が増えている。求人に来る企業の話を知ると、派遣、請負以外は増員ではなく退職者の補充がほとんどである。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・他社が2、3割の値段で掲載している状況なので、相当一生懸命回っているが、注文が少ない。頻繁に広告を掲載する企業に頼んで何とか注文を受けている。また、企業本体で募集をしていたのが業務請負や派遣を使うようになり、直接掲載しなくなっている。